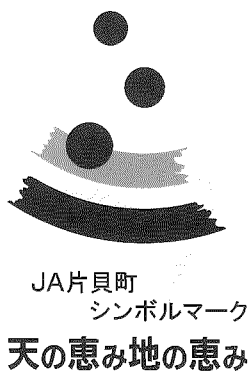


片貝新聞

発行所 片貝新聞社
〒947-01 小千谷市片貝町10367-4
TEL・FAX 0258-84-3246
編集発行人 吉原芳郎
印刷所 吉原印刷
題字 黒崎敬漢氏



片貝伝統芸能保存会が 「伝統守るために」片貝木遣歌考」発行 テープも同時発売で人気呼ぶ



片貝伝統芸能保存会(山口益宏会長)は、片貝まつりに合わせて小冊子「片貝木遣歌考」を発刊した。B五判、五十二ページ。

祭り終わって

片貝人の血が騒ぐといわれる「片貝まつり」も無事幕を閉じた。今年の祭りは雨にも見舞われず、九日・十日とも好天に恵まれ、殊の外花火の奇麗さが浮き彫りされ観光客を魅了した。今年も平日ということでも果してこの程度の観光客が押し寄せるのか心配されたが、さすがに四尺五の宣伝効果か、NHKラジオをはじめとする各マスコミも取り上げ、十六万人という人出で、多少の混雑はあったものの近手手がけた駐車場の確保。シャトルバスの運行など物慣れた運営で大好評

「木遣歌の成り立ち」「木遣歌の形式と内容」「木遣目に分けて詳しくまとめあげた。片貝への道」「木遣の導入」「片貝祭りと木遣」「片貝木遣の起源」「片貝木遣と江戸木遣の比較」「伝統芸能保存会としての歌詞と」

「木遣歌の成り立ち」木遣歌の形式と内容、木遣目に分けて詳しくまとめあげた。片貝への道、木遣の導入、片貝祭りと木遣、片貝木遣の起源、片貝木遣と江戸木遣の比較、伝統芸能保存会としての歌詞と。また、同保存会メンバーが歌う正調の奉納木遣、前歌、道中木遣を録音したカセットテープも作成した。

以前と比べ格段に増えたのが人出とゴミといわれ、大量のゴミだけが社務関係者や中学生への置き土産として残された。ゴミは持ち帰るように複数で放送もしているが効果は極めて薄い。ゴミは分別が、それは異常といえるので、一般の会費は参加しやすいうように安く、それ以上大型という人は何人か特別寄付を募ってやればよい。そこで、総て同額というのを見平等という見ゆるが、生活環境も違ひ世知辛い世の中、参加できない人も出てくる。そうなるや何の目的の同級会かということにもなりかねない。一考を要すると思う。

行政のタッチしない片貝まつりは交通整理から

小冊子は五百冊限定で一冊千円、カセットテープは百本限定で一本千円。セット価格千五百円で発売している。片貝まつりの物産土産店で扱ったところ、飛ぶように売れて用意した七十セットは早々に完売となった。その後もあちこちから問い合わせが届いている。片貝伝統芸能保存会が発したの平成二年、「木遣」「しゃぎり」「巫子節」の三部会に分かれて活動を始めた。「木遣」は片貝町

とっては、片貝まつりを初め宴席でも歌われる必要不可欠な存在。しかし近年正調で歌える人が少なくなってきた。このままでは正調で歌える人がいなくなってしまふ、との危機感により立ち上がり小冊子とカセットテープ完成となった。山口会長は、「小冊子の方は満足しているが、カセットテープの方は七十点の出足が満足していない。二年のうちに八十点、九十点のカセットテープ完成を目標している」と語っている。

吉原市議、総文委員長に

吉原正幸市議(47、高見線気味の発言を戒めた。が、9月12日の総務文教委員会、同委員長の要職に選ばれた。吉原市議は副委員長であったが、先の市長選で委員長だった広井庄二氏が辞職して立候補、その間ずっと空席だった。副委員長の吉原市議がそのまま昇格する形で選ばれた。副委員長には横田外一市議が就いた。なお、9月25、26の両日行なわれた一般質問で、吉原市議は新保守市民の脱

読書の秋です
読みかかせの秋
10月の日程
小学生低学年を主な対象に、絵本や紙芝居の読みかかせのボランティア実施の活動予定は、10月3日(金)午後3時、11日(土)午前10時、17日(金)午後3時、三回、いずれも片貝ふるさと会館で開催する。

ゲートボールで 世代間交流図る

平成9年度第14回片貝老人クラブ、子供会交流ゲートボール大会(片貝公民館)が、去る8月25日片貝小学校グラウンドで開催された。町内単位12チームが参加、各チーム老人クラブメンバーと小学生混合で和気あいあいの中ゲームが進められた。

敬老会は5日 出し物盛り沢山

片貝町協議会(会長吉井陽)は10月5日(日)午前10時から、片貝小学校南運動場から、片貝小学校南運動場まで片貝町敬老会を開催する。今年の該当者は昨年より30名増の905名で、内米寿が18名、喜寿が47名と年々増えている。

片貝町から15名が結東へ

江戸時代の天明、天保の飢饉の際、片貝町の佐藤佐平治翁は、秋山郷の結東地区(現在津南町の結東地区)の困窮を救った。結東地区は佐藤佐平治翁に感謝、遺徳を偲ぶ顕彰碑を建立、毎年佐平治まつりを開催しているが、今年も去る8月25日に結東地区で開催された。片貝町からは片貝町協議会を中心となり、十五名が現地に訪れて佐平治まつりに参加した。顕彰碑の前で午後1時から神事が行なわれ、関広一市議会議長と吉井陽協議会会長が挨拶した。地元からは町長(代理)、

ジャンボかぼちゃ大会 池津町内会今年も頑張る

池津町内会(堀井一位町内会長)は、第九回池津ジャンボかぼちゃコンテストを、8月31日に開催した。六十六世帯から百七十個の出品があり、総重量は五〇四五にも達した。堀井町内会長は「今年のかぼちゃやスイカは大きく育たなかった。今年の最大重量は九六キ、初めて一〇キを

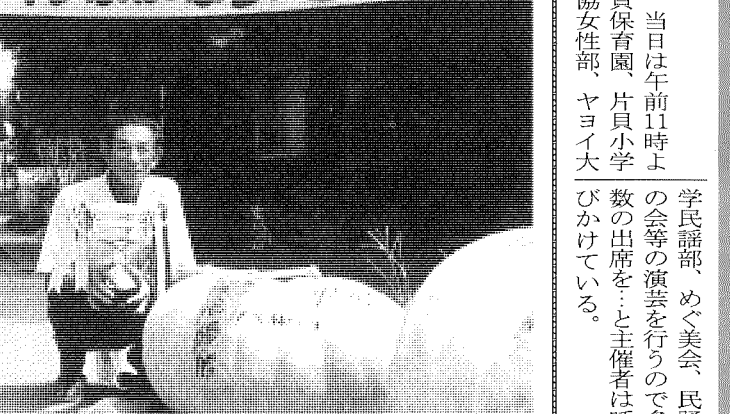
かたかい春秋

我片貝町のこのたび過ぎる傾向が見られているようではある。大勢の人が集い、心地よきまつりが開催され、町内共に参加者が集まり、汗を流し、和気あいな風が冷たくなつてしまひ、今やすっかり秋真る。その姿勢やよしと評価していいと思う。従来どおりの形の方が良いという意見が多ければ、近づくにつれて、今年もはひと味違った運動会がテスと目的に行なわれるという。長短いずれの考え方も出るのであるが、少々競技性を重視、即ち勝敗に

リサイクル集めま〜す 5日AM9時〜

リサイクルかたかいは、5日(日)午前9時から9時半まで、恒例のリサイクル活動を片貝支所前で実施する。空缶(アルブ、スチール分)、ボロ布、ダンボール、新聞紙(チラシを除く)を、乾電池など。リサイクルかたかいはゴミ減量と資源の再利用を訴えている。

池津ジャンボかぼちゃコンテスト



池津ジャンボかぼちゃコンテストの会場には、巨大なかぼちゃが並び、参加者が写真を撮っている様子が見られる。今年のかぼちゃは大きく育ち、コンテストに大きな貢献をした。

敬老会は5日 出し物盛り沢山

片貝町協議会(会長吉井陽)は10月5日(日)午前10時から、片貝小学校南運動場から、片貝小学校南運動場まで片貝町敬老会を開催する。今年の該当者は昨年より30名増の905名で、内米寿が18名、喜寿が47名と年々増えている。

片貝町から15名が結東へ

江戸時代の天明、天保の飢饉の際、片貝町の佐藤佐平治翁は、秋山郷の結東地区(現在津南町の結東地区)の困窮を救った。結東地区は佐藤佐平治翁に感謝、遺徳を偲ぶ顕彰碑を建立、毎年佐平治まつりを開催しているが、今年も去る8月25日に結東地区で開催された。片貝町からは片貝町協議会を中心となり、十五名が現地に訪れて佐平治まつりに参加した。顕彰碑の前で午後1時から神事が行なわれ、関広一市議会議長と吉井陽協議会会長が挨拶した。地元からは町長(代理)、

ジャンボかぼちゃ大会 池津町内会今年も頑張る

池津町内会(堀井一位町内会長)は、第九回池津ジャンボかぼちゃコンテストを、8月31日に開催した。六十六世帯から百七十個の出品があり、総重量は五〇四五にも達した。堀井町内会長は「今年のかぼちゃやスイカは大きく育たなかった。今年の最大重量は九六キ、初めて一〇キを



▲800m上空で直径800mの大輪 9日の四尺玉

天候に恵まれ四尺玉開花

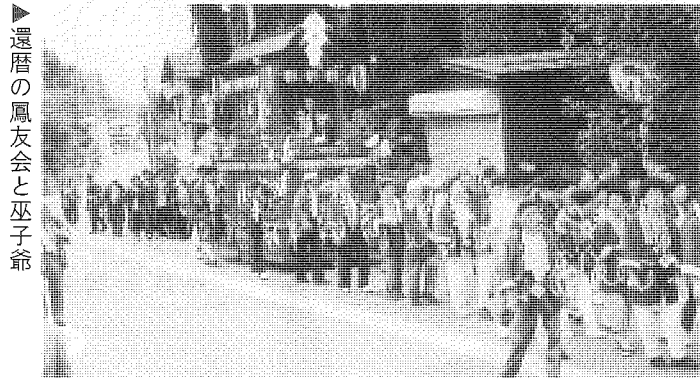
片貝まつり大盛況

終わった後はゴミの山

浅原神社秋季大祭の片貝まつりが8日の前夜祭に始まり、9日、10日の両日盛り沢山の行事が盛大に繰り広げられた。まつりの主役、奉納花火は世界一の四尺玉が二発、その直後四尺玉が八百以上三尺玉は八発が打ち揚げられ、9日夜10時サイレンが町に響いて打ち揚げ入音図、その直後四尺玉が八百以上三尺玉は八発が打ち揚げられ、空で直径八百以上の大輪の花



▶幕開けの民謡流し



▶還暦の鳳友会と巫子翁



▶力のこもったパレン披露



▶きょうは女性だつてツッパ呑み



▲伝統の筒引きも大騒ぎ



▲片貝小児童も大活躍

▲成人おめでと

を開放させた。10日はかなり風があり、直前の花火の煙が流れ絶好のコンディションであったが、四尺玉の時だけ煙が残ってしまい、ぼやけてしまった。三尺玉は一発だけ失敗した。二日間共夜は好天に恵まれたため、ドットと人出が出て車も多数で渋滞となった。三年目を迎えた渋滞と駐車場対策としての白山運動公園、松下電送、第一測定の駐車開放、シャトルバス運行は順調にいった。両日共に三つの駐車場は早々に満杯となった。長年の懸案事項であった成人いじめは、小千谷警察署の指導により、関係する

若者等に誓約書に署名などの対策が効果を表わしたのか、全く行なわれなかった模様で、主催者等を喜ばせた。トイレも臨時トイレを片貝支所前、駐在所前などあちこちに設置、主催者の努力が見られたが、夜の本部裏のトイレの混雑ぶりは相変わらずで、長い行列が続いていた。年々増えるゴミ対策も頭痛のタネ。11日早朝は、例年どおり当番社務と一緒に、片貝中学校生徒全員が奉仕作業。六年に一回当番がまわってくる社務は「六年前の二倍になった」と語る。燃えるゴミと燃えないゴミの区分けに時間がかかっていた。浅原神社参道入口付近に開設の、物産土産コーナー

は年々品揃えの充実があり、過去最高の売り上げがあった模様。(※花火の写真のみ小千谷新聞社提供)

片貝 ヒューマンウォッチング

五十嵐家滞在のヌルさん

インドネシアから鴻巣の風氏の奥さん・愛子さんに五十嵐正弘氏宅に、農業研修生として滞在中のヌル・ヒダヤティさん(二五)に登場願った。ヌルさんは4月3日に仲間五十六人(うち女性八人)と共に来日、4月11日から五十嵐家に滞在し、11月30日まで農業を学んでい



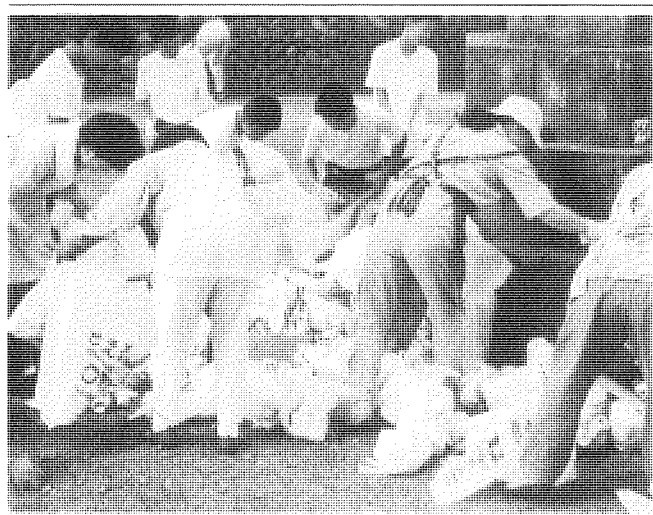
来日した五十六名のうち七人が新潟県に滞在、ヌルさんはこのうちの三人と共に佐渡観光もした。片貝まつりには五十嵐家の好意により、中里村に滞在、カレイライスが一番好きと笑顔で語ってくれた。

12日に町民大運動会

今年は一ひと味違う試み

片貝町協議会(吉井陽会、片貝公民館、館長吉原幸至)共催、片貝町体育協会(会長大矢孝四郎)主催の今年例年と異なり、午前9時30分より、小学生の管で10月12日午前8時30分、鼓笛隊パレード、ビンゴめより、第51回片貝町町民大運動会(スポーツ・フェス)を

▲終わってみればゴミの山



ハッピーベイビー

○高野祐輔ちゃん(山屋) パパ稔久さん(30才) ママ幸子さん(26才) 第2子長男 平成8年9月22日生 現在の体重9kg身長74cm Qどんな子に育って欲しいですか A優しい子に育つように Qお子さんの様子 A明るく、優しく、元気な子

